

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-129253

(43)Date of publication of application : 19.05.1998

(51)Int.Cl.

B60J 1/20

(21)Application number : 08-286379

(71)Applicant : OGUSU TETSUO

(22)Date of filing : 29.10.1996

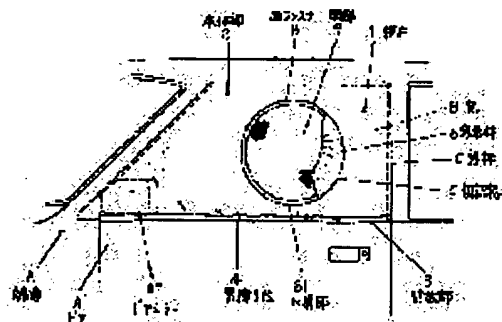
(72)Inventor : OGUSU TETSUO

(54) SCREEN TO BE ATTACHED TO WINDOW OF AUTOMOBILE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a means for blocking another person's eyes and direct rays from the outside, to use a screen for defrosting, to easily perform the taking in and out operation, the other operation, the unexpected operation, and the emergency operation.

SOLUTION: A bag-shaped main body part 2 is formed of materials such as cloth, a film, a plate, a film, or the like to be mounted on a window B or a window frame C of an automobile A by a fastening means such as a hook, a screen part 9 is detachably provided on one surface of the main body part 2, a visually confirming window 5 is formed on the other surface of the main body part 2, a window material 6 such as cloth, a film, a plate, a film, or the like is attached to the visually confirming window 5 so as to be freely opened and closed and freely attached and detached, and a screen is attached to an automobile A. Accordingly, the screen 1 can not only has the insect-proof effect but also blocks another person's eyes and direct rays, and an occupant can take a rest with the window B opening.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of

rejection]

[Kind of final disposal of application other than
the examiner's decision of rejection or
application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-129253

(43) 公開日 平成10年(1998) 5月19日

(51) Int. Cl.⁶

B 6 0 J 1/20

識別記号

P I

B 6 0 J 1/20

D

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平3-286379

(22) 出願日 平成 8 年 (1996) 10 月 29 日

(71) 出願人 596103503

小楠 哲郎

愛知県春日井市中野町 2 丁目 18 番地 16 号

まこと荘 1 F 中

(72) 発明者 小楠 哲郎

愛知県春日井市中野町 2 丁目 18 番地 16 号

まこと荘 1 F 中

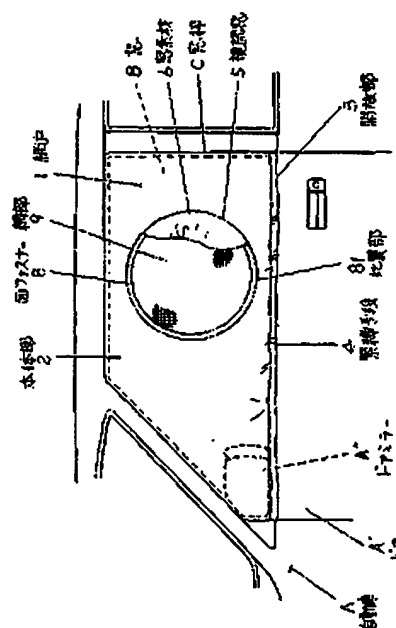
(74) 代理人 弁理士 竹中 一宣

(54) 【発明の名称】 自動車窓に取付けられる網戸

(57) 【要約】

【課題】従来の構造は、袋状の網を車の窓枠に被せ、網端を磁石で固定する構成である。休憩中の車内の様子が車外から透過でき問題である。また直射日光等を遮蔽できず、防眩、日焼け防止、等が図れず問題である。

【解決手段】自動車 A の窓 B 又は窓枠 C に紐、ホック等の緊締手段 4 で装着される布地、膜体、板、フィルム等の素材で袋状の本体部 2 を形成し、この本体部 2 の一面に網部 9 を着脱自在に設け、またこの本体部 2 の他面に視認窓 5 を設け、この視認窓 5 に布地、膜体、板、フィルム等の窓素材 6 を開閉自在かつ着脱自在に設け得る構成の自動車 A に取付けられる網戸 1 である。従って、網戸 1 としての防虫効果の他に、視線及び直射日光等を遮蔽できる。窓 B を開けたままでも安心して休憩できる。



(2)

特開平10-129253

1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 窓又は窓枠に装着される布地、膜体、板、フィルム等の素材で袋状、折曲状等の形状の本体部を形成し、この本体部の一面に網部を、他面に視認窓をそれぞれ設け、

この視認窓に布地、膜体、板、フィルム等の窓素材を開閉自在に設ける構成とした自動車の窓に取付けられる網戸。

【請求項2】 窓又は窓枠に紐、ホック等の緊締手段で装着される布地、膜体、板、フィルム等の素材で袋状、折曲状等の形状の本体部を形成し、

この本体部の一面に網部を着脱自在に設け、

またこの本体部の他面に視認窓を設け、

この視認窓に布地、膜体、板、フィルム等の窓素材を開閉自在かつ着脱自在に設ける構成とした自動車の窓に取付けられる網戸。

【請求項3】 前記着脱自在に設ける構成は面ファスナーであって、この面ファスナーは車内より操作できる構成となっている請求項2に記載の自動車の窓に取付けられる網戸。

【請求項4】 前記窓素材の開閉を、紐、ホック等の緊締手段の開放又は緊締で行うことを特徴とする請求項1及び請求項2に記載の自動車の窓に取付けられる網戸。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は自動車のドアに装着する網戸に関する。

【0002】

【従来の技術】夏の暑い日等に自動車の中で休憩をとる場合、風通しをよくするために窓を開放したままにしておくと蚊、蠅、毒虫、等々、他の虫等の害虫、昆虫、虫（以下、原則として、虫とする。）が車内に侵入し、休憩の妨げとなるとともに、刺される被害があり問題となる。殊に、子供又は老人等の如く、体力的に劣っている人にとっては大変であること、及び病気の引き金になりかねないこと、等の由々しい状況となり易い。また蚊、毒虫、等々の如く、強い刺激及び毒を持っている虫には十分に注意する必要がある。また一方窓を開放した状況、即ち、無防備な車内での休憩は、防犯上において問題がある。

【0003】また窓を開めれば、当然車内温度が上昇し、必然的にエアコンをつけざるを得ない状況、又はエアコンを作動させるためのエンジン運転を行う状況となり、資源の無駄使いとなること、排気ガス、騒音等の発生に基づく公害が発生し、環境破壊が問題となること、等の課題がある。

【0004】以上のような状況、及び近時、アウトドア指向が叫ばれていること、等の他の要因で、窓の開放状態の安全性、車内環境等の向上を図る対策が要望されて

いる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】これらの課題を解決するためのものとして、自動車ドアの窓枠に網戸をはめ込む自動車用の網戸が考えられているが、網戸自体が大きくなるため積載場所をとり、脱着に時間がかかること、及び使い勝手が悪いこと、又は車内への取容にも問題があること、等の課題が指摘されている。そして、前記構成の網戸を取付けた場合には、走行中において、衝撃に対して滑落ち、思わぬ被害、災害等の発生、又は種々のトラブルが発生する等の原因となる由々しい問題である。

【0006】一方、前述の積載場所をとる欠点に鑑み改良を施したものとして、ネット状の網を自動車ドアの上部に接せる簡易式の網戸が提案されている。例えば、実開平7-2119号の公報に記載されている「車の窓に装着する、虫よけ器」がある。これは袋状の網を車の窓枠に接せ、網端を磁石で固定する構成である。しかし、この考案では、休憩中の車内の様子が見えなくなり、防犯上の問題がある。また直射日光等を遮蔽できず、防眩、日焼け防止、等が図れず問題となる。更に全体を網で被うことから、手の出し入れの外、他の動作又は咀嚼のときの動作、緊急時の行動に困る等の課題がある。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は前述の課題を解決することを目的に、外部からの視線又は直射日光等を遮蔽する手段を設けること、防霜等用として役立つこと、又は手の出し入れの外、他の動作又は咀嚼のときの動作、緊急時の行動が容易であること、を目的として、以下の構成を採用した。

【0008】先ず、請求項1の発明は、窓又は窓枠に装着される布地、膜体、板、フィルム等の素材で袋状、折曲状等の形状の本体部を形成し、この本体部の一面に網部を、他面に視認窓をそれぞれ設け、この視認窓に布地、膜体、板、フィルム等の窓素材を開閉自在に設ける構成とした自動車の窓に取付けられる網戸である。

【0009】また請求項2の発明は、窓又は窓枠に紐、ホック等の緊締手段で装着される布地、膜体、板、フィルム等の素材で袋状、折曲状等の形状の本体部を形成し、この本体部の一面に網部を着脱自在に設け、またこの本体部の他面に視認窓を設け、この視認窓に布地、膜体、板、フィルム等の窓素材を開閉自在かつ着脱自在に設ける構成とした自動車の窓に取付けられる網戸である。

【0010】更に請求項3の発明は、網部及び視認窓の窓素材を着脱自在に設けるに際して面ファスナーを利用するとともに、この面ファスナーは車内より操作できる構成となっている自動車の窓に取付けられる網戸である。

(3)

特開平10-129253

3

【0011】尚、請求項4の発明は、前記窓素材の開閉を、紐、ホック等の緊締手段の開放又は緊締で行うことを特徴とする自動車窓に取付けられる網戸である。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について説明する。

【0013】装着方法は、自動車のドアの窓枠部分に本体部の開放部を下に向けて接せる。この接せるという動作は、比較的容易かつスムーズに行えるため、本発明には誰にでも装着できるという利点がある。

【0014】装着後の使用の一例を説明すると、車内を遮蔽したいとき、又は太陽の直射日光等を遮蔽したいとき、等は、視認窓に窓素材を面ファスナーを利用して装着する、又は装着された窓素材を、緊締手段により閉塞することにより、自動車の窓・網部の開放状態（後述する。）又は閉塞状態で、車外からの視線及び直射日光、雨水等を遮蔽することができる。一方、必要時又は不測の事態の際には、面ファスナーの操作により、乗車した状態で本体部から網部又は窓素材を着脱できる。また外気を導入する場合には、自動車の窓を開放し、かつ視認窓に設けた窓素材を開放又は取外し等すると、車内外は網部による遮蔽であるので、自由に空気の流動が図れ、換気が図れること、及び虫の侵入防止に役立つこと、等の特徴がある。

【0015】不使用時には、本体部を畳むか又は丸めることにより、コンパクトに保管できる。

【0016】

【実施例】以下、本発明の実施例について説明する。

【0017】まず、請求項1に係る本発明の構成は、窓B又は窓枠Cに装着される布地、膜体、板、フィルム等の素材で袋状、折曲状等の形状の本体部2を形成し、この本体部2の一面に網部9を、他面に視認窓5をそれぞれ設け、この視認窓5に布地、膜体、板（板、薄い板等を云う。）、フィルム等の窓素材6を開閉自在に設け得る構成の自動車Aの窓Bに取付けられる網戸1である。

【0018】請求項2に係る本発明の構成は、窓B又は窓枠Cに紐、ホック等の緊締手段4（緊締具）で装着される布地、膜体、板、フィルム等の素材で袋状、折曲状等の形状の本体部2を形成し、この本体部2の一面に網部9を着脱自在に設け、またこの本体部2の他面に視認窓5を設け、この視認窓5に布地、膜体、板、フィルム等の窓素材6を開閉自在かつ着脱自在に設け得る構成の自動車Aの窓Bに取付けられる網戸1である。

【0019】請求項3に係る本発明の構成は、前記着脱自在に設ける構成は面ファスナー8であって、この面ファスナー8は車内より操作できる構成の自動車Aの窓Bに取付けられる網戸1である。

【0020】請求項4に係る本発明の構成は、前記窓素材6を開閉自在に設ける構成であって、この開閉を、紐、ホック等の緊締手段7で行い得る構成の自動車Aの

4

窓Bに取付けられる網戸1である。

【0021】以下、本発明の実施の形態について図面を基に具体的に説明する。図1～図8は、本発明の網戸1を、自動車Aに装着した状態の各例を示す図である。図1～図4は実施例1、図5～図8は実施例2を示している。

【0022】最初に、装着方法は実施例1及び実施例2ともに共通して、自動車AのドアA'の窓枠Cに本体部2の開放部3を下に向けて接せる。これにより、網戸1としての防虫効果を奏する。また接せるという動作は、比較的容易かつスムーズに行えるため、本発明は誰にでも装着できる。この装着の際、本体部2の開放部3を紐、ホック等の緊締手段4で留めることにより、本体部2の開放部3とドアA'とが密着できる構成であり、虫の侵入防止に役立つ効果がある。また本体部2の開放部3周縁に磁石、接着部を設ける構成でもよい。更にまた、図例の如く、ドアミラーA''を本体部2で挟む構成、又は図示しないが、ドアミラーA''を車外に設けた状態で本体部2で挟む構成、等も当然採用できる。

【0023】また視認窓5、網部9の形状も、図例及び説明の如く、実施例1の視認窓5の形状は円形状、又は実施例2の視認窓5の形状は半円形状、であるが、この図例及び説明等に限定されず、例えば、楕円形状、四角形、三角形、ハート形、他の図形、又は他の形状、等の如く、任意である。

【0024】次に、使用に際して、車外からの視線、又は直射日光等を遮蔽等したいときは、視認窓5に窓素材6を面ファスナー8を介して装着するか、装着した視認窓5の窓素材6を緊締手段7により緊締すること等により、前記視線及び直射日光等を遮蔽できる。また窓Bを閉塞した状態で防霜、防寒として利用することも可能である。更に前の各効果をより発揮する目的で、窓Bと本体部2との間に防霜材、防水材、遮光材等の他の部材を設ける場合もある。

【0025】また具体的な使用例は、実施例1では、緊締手段7を利用する方法である。即ち、視認窓5に窓素材6から立設した袖部71を設け（着脱自在も可能である。）、その袖部71の周縁に紐72を担設する構成であり、当該紐72の緊締により視認窓5の視界を調整する。また本体部2と網部9を着脱自在（一部を縫着する構成もある。）にするため、面ファスナー8を用いる構成を説明すると、休憩中等に不測の事態が生じた場合にも、車内に乗車したまま面ファスナー8の操作により網部9又は窓素材6を本体部2から単独で取外すことができる。更に面ファスナー8を車外から操作できないように片面構成とする場合もある。この構成では、防犯に役立つ構造となる。また面ファスナー8からの雨水の侵入を防止するため、面ファスナー8及び視認窓5部分を覆設する比翼部81を設ける構成が考えられる（図例では、図5～図8の形状がよい。）。

(4)

特開平10-129253

5

6

【0026】続いて、実施例2では、緊締手段7'を利用する方法である。即ち、視窓5と本体部2との下端境目に窓素材6を巻き込み係止する構成であり、当該窓素材6を巻き込んだ後、この緊締手段7'で前記巻き込み状態を保持する。また網部9の使い方は、この窓素材6の使い方とはほぼ同様である。そして、この実施例2の他の構成は前述の実施例1とはほぼ同様である。

【0027】尚、本発明の網戸1を、自動車Aの窓Bに取付ける場合は、実施例1では、車内側に視窓5、車外側に網部9となるように装着する場合を示す。一方、実施例2では、逆に網部9を車内側に、視窓5を車外側に装着する場合を示す。これら装着方向は原則として使用者が用途に応じて適宜選択すべきものであり、図例の如く、実施例1に示す場合においては、緊締手段7を車内側として装着した方が使い勝手がよい。また本発明を取外し保管する場合は、本体部2を畳むか又は丸めることにより、コンパクトに保管できる。

【0028】

【発明の効果】前述のような構成を採用する、本発明には以下のような効果がある。

【0029】① 網戸としての防虫効果の他に、車外からの視線及び直射日光等を遮蔽できること、及びこの防虫効果又は遮蔽効果により、窓を開けたままでも安心して休憩できること、また雨降りの場合でかつ自動車の窓を開けたままの状態でも車内への雨水の進入防止ができること、防霜、防寒用としても役立つこと、等の効果がある。

【0030】② 乗車しながら、網部等を取外すことができるので、大変に重宝及び有益である。

【0031】③ 以上の如く、車内での一時休憩が容易に行えるので、居眠り運転による事故を防止できること、又は無用のエンジン運転が減少し、省エネルギーに寄与できること、等の効果を有する。

【図面の簡単な説明】

*【図1】本発明を運転席側のドアに装着した場合の一部欠載の模式図。

【図2】図1の例の車内側からのドアを示す一部欠載の模式図。

【図3】図1の例をドアに装着した場合の断面図。

【図4】図1の例を後部座席のドアに装着した場合の一部欠載の模式図。

【図5】本発明の他の実施例を運転席側のドアに装着した場合の一部欠載の模式図。

10 【図6】図5の例の車内側からのドアを示す一部欠載の模式図。

【図7】図5の例をドアに装着した場合の断面図。

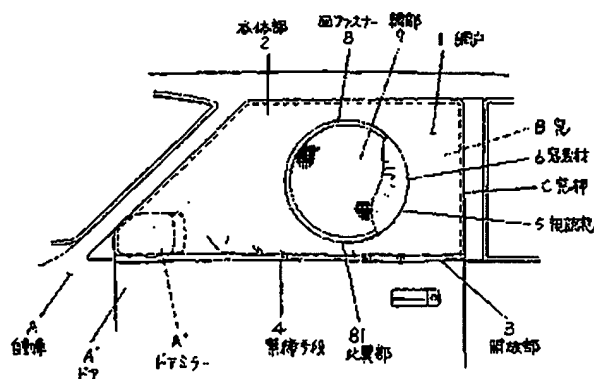
【図8】図5の例を後部座席のドアに装着した場合の一部欠載の模式図。

【符号の説明】

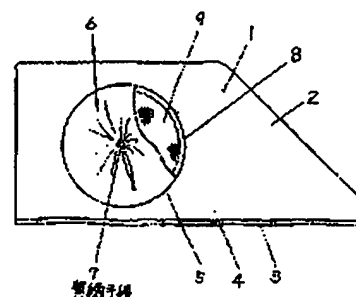
- | | |
|-----|--------|
| 1 | 網戸 |
| 2 | 本体部 |
| 3 | 開放部 |
| 4 | 緊締手段 |
| 5 | 視窓 |
| 6 | 窓素材 |
| 7 | 緊締手段 |
| 7' | 緊締手段 |
| 71 | 軸部 |
| 72 | 紐 |
| 8 | 面ファスナー |
| 81 | 比翼部 |
| 9 | 網部 |
| A | 自動車 |
| A' | ドア |
| A'' | ドアミラー |
| B | 窓 |
| C | 窓枠 |

*

【図1】



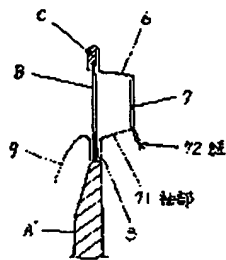
【図2】



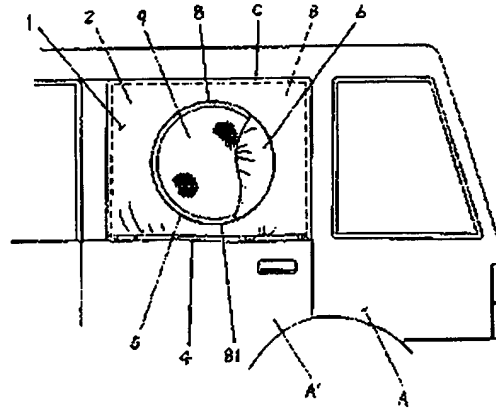
(5)

特開平10-129253

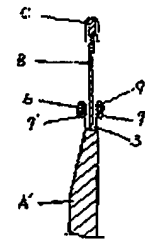
【図3】



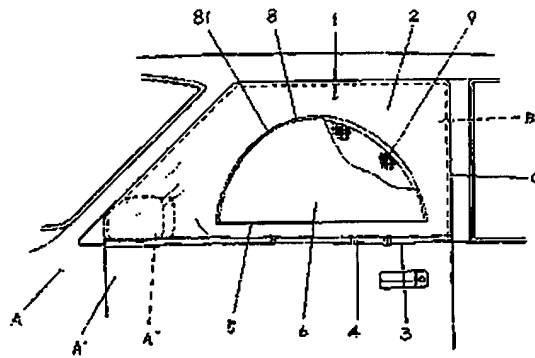
【図4】



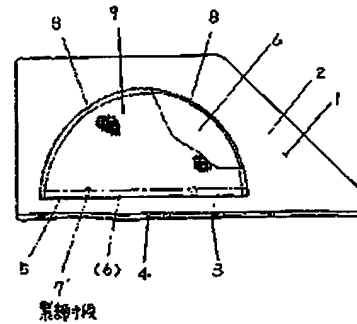
【図7】



【図5】



【図6】



【図8】

